

ブロイラー企業 3 社と共に取り組む鳥インフルエンザ防疫に対する意識改革

三八地域県民局地域農林水産部八戸家畜保健衛生所

○二俣雅之 関合哲

管内養鶏農場 85 戸中約 7 割の 61 戸は、大手ブロイラー企業（インテ）3 社の系列農場。

鳥インフルエンザ（AI）発生時の迅速な防疫措置のため、インテとの連携は必要不可欠。

各インテとも、生産管理について専門の指導員が各農場を指導しているが、衛生管理は農場が主体的に実施。そこで、全農場を指導員と家保獣医師が共に巡回し調査することをイ

ンテと取り決め、AI 防疫対策強化に向けた取組みを開始。巡回時には飼養衛生管理基準の

各項目を指導員と共に確認。AI 発生時のまん延防止対策の円滑な実施のため、適切な埋却

地確保に重点を置いて調査。その結果、農場で確保していた土地 46 か所のうち 12 か所で

重機の進入が困難等、埋却地として適切ではないことが判明。同時に、新たに 15 農場中

10 農場で、農場付近に埋却可能な土地の存在を把握。また、各農場、指導員が埋却作業を

より具体的にイメージできるようにするため、実際に埋却溝を掘削する防疫演習を実施。

掘削作業に要する時間と必要な面積に更なる検討が必要と判断。3 インテ合同の意見交換

会を開催し、巡回調査及び演習結果の情報を共有し、併せて他社の状況を知る事で、AI 防

疫に向けた意識を改革。